

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公表番号】特表2008-541170(P2008-541170A)

【公表日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2008-046

【出願番号】特願2008-511177(P2008-511177)

【国際特許分類】

G 09 F 13/12 (2006.01)

G 09 F 13/02 (2006.01)

G 09 F 13/06 (2006.01)

G 09 F 13/08 (2006.01)

【F I】

G 09 F 13/12

G 09 F 13/02

G 09 F 13/06 A

G 09 F 13/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

実質的に連続した遮光フィルムを提供する工程、  
構造化表面を有する透光フィルムを提供する工程、及び、  
前記遮光フィルムを前記透光フィルムの構造化表面と接触させて遮光層と透光層を有する  
複合フィルムを形成する工程を含み  
前記接触後に、前記複合フィルムが、透光領域と遮光領域を有する、物品の製造方法。

【請求項2】

遮光フィルムを透光フィルムの構造化表面に接着させることを含む、請求項1に記載の  
方法。

【請求項3】

実質的に連続した遮光フィルムを提供する工程、  
支持ウェブを提供する工程、  
前記支持ウェブの反対側で前記遮光フィルムの表面を構造化する工程であって、そこで  
構造化の後に、遮光フィルムが比較的薄い透光領域を有する工程、及び、  
前記支持ウェブを取り除く工程、  
を含み、そこで少なくとも前記比較的薄い透光領域の一部が前記支持ウェブに残される、  
物品の製造方法。

【請求項4】

実質的に連続する遮光ポリマフィルムを提供する工程、  
実質的に連続する透光の溶融ポリマフィルムを提供する工程、  
前記遮光の溶融ポリマフィルム及び前記透光の溶融ポリマフィルムを、構造化表面に導  
入する工程であって、前記構造化表面は前記遮光のフィルムに接触することとする工程、  
実質的に連続した複合フィルムを構造化表面に形成する工程であって、前記複合フィル

ムは、遮光領域と透光領域を含むこととする工程、及び、  
前記構造化表面から前記複合フィルムを取り除く工程、  
を含む物品の製造方法。